

「千代田区ふるさと検定」の活用による大学・地域間の交流推進

家政学部児童学科 本澤 淳子

研究経過及び本年度の位相

本研究は「小学生及び区民を対象にした千代田区地域教材の教材化に関する実践的研究」の5年目にあたる。

■2016～2018 年度

「千代田区子ども検定」の作成・冊子及び Web による発信。(2019 年「千代田区ふるさと検定」と改称)



■2019 年度

「千代田区ふるさと検定」の発展として、「千代田区ふるさとカルタ」及びデジタルストーリーテリング「ちよさんぽ」を作成・発信。



■2020 年度(本年度)

GPS クイズラリー「ちよさんぽ」の作成・発信及び Web 上で「千代田区ふるさとカルタ大会」実施。

目的

「千代田区ふるさと検定」とリンクした体験型の検定として GPS クイズラリーを作成・発信、Web カルタ大会の実施等を通して、千代田区ならではの魅力を発信する機会とし、大学と地域間の交流推進を図る。

考察

- ◇郷土検定の継続的な運用を図るには、発信後の継続方法を明確にする必要がある。こうした考えに基づき、本研究において作成した「千代田区ふるさと検定」発信後の利活用のあり方について検討し、実践化することができた。今後も交流活動の内容、発信の方法を検討し、「ふるさと千代田」への意識の醸成を図る機会をさらに充実させていく。
- ◇新型コロナの影響により、地域交流活動にも厳しい制約が求められたが、Web カルタ大会のように実施可能な方法を探ることができ、地域交流活動のあり方をより豊かに見直すことにもなった。これを、地域との連携をさまざまな方法で広げていく契機とし、ゼミ生主体の活動をさらに展開していくようにしたい。

本年度の研究内容・結果

(1) GPS クイズラリーの作成・発信

スマートフォンで楽しむことができる体験型のクイズとして、千代田区活動団体 chee's、株式会社コギトとの連携により作成・発信。神田地区、日比谷公園について試作した。

クイズラリー大会は次年度以降実施する予定である。



(2) Web カルタ大会の実施

学童クラブにおけるカルタ大会を Web 上で実施。対面でも実施可能との見通しを得た。



ポピンズアフタースクールー番町における Web カルタ大会

(3) 日めくりカレンダーの作成

「千代田区ふるさとカルタ」の読み札、絵札を配し、日めくりカレンダー「まいにち千代田区」を作成した。地域交流活動の広報等に活用していく。

